

## ギターという楽器について思うこと(私見)

つまびき まさる

いつのころからか、街中でギターを背負った人をよく見るようになった。

ギグバックという軽いケースが主流になったからだ。おかげでベニヤ(材木屋的には合板)でできたクソ重いケースは物置の肥やしとなりつつある。

私が小学生の頃はかぐや姫とかのフォークソングブームが終わる頃で、どこの家にもなぜかギターがあった(後の丘サーファーみたいなもの?)、中学(男子校)に入ると隣の席のヤツに「マンドリン部に見学に行きたいから一緒に行こう」などと誘われ、否応がなく入部、マンドリン部なのにギターを弾くこととなり、ここからギターとの長い付き合いが始まってしまった。

ギターなんぞもって歩いていると動機が不純だとか軟派な奴だのそしりを受けるわけだが、音楽系部活動(もちろんブラバンを含む)は、団体で行う(合奏)ものなので、組織的にはなんら体育会系と変わらない(言いすぎか)。さらに部員全員でのプレーとなるので補欠なし、落ちこぼれは許されないとんでもない世界だった。その後社会人となり20年ほどギターから遠ざかっていたが、45才の時にまた始めてしまう(別に後悔はしていない)。



今はこんな人(ギター背負って、キャリアをコロコロ引張っている。なぜか黒づくめ、やせ型)基本JR又は都営地下鉄を使う。メトロはエレベーターが完備されていないので。

で、ギターの話、いま普通に目にしているギターは比較的新しい楽器で、今の形は明治時代にトレスという製作者が確立したモデルが基になっているといわれている。弦は、ガット(羊の腸)から鉄弦になり、戦後ナイロン弦が発明(?)され、クラシックギターとフォークギター(和製英語)になる。

どちらも材料(楽器用材はトーンウッドと呼ばれている)はトップ(表板・基本二枚接ぎ)はドイツ松(いわゆる欧州エゾ松?)が主流で、シトカスプルース、米杉、シトカ以外のスプルースなどが使われる。アディロンダックとかエンゲルマンスプルース(樹種的にはパイン)、シトカスプルースなども十把一絡げにドイツ松とか単にスプルース表示だったりする。材木屋的にはどうなのって感じ・・・

シトカスプルースのミュージックグレード(最近はお目にかかれない)がピアノ屋に流れ、基本そのおこぼれで作っていた。が最近では単板をそのまま輸入している模様。乾燥は基本天乾(最近ローステッド

メープルをはじめ人乾も)メープルのフレーム、キルトのような美しい杓目はいろいろな楽器に普通に使われているが、きれいとは言えないシトカスプールの斑(ふ)まで、最近ではベアクロウ(直訳すると熊の爪)とか言ってへっちゃらで商品化されている。

先日話題になったギブソン(連邦倒産法第11章)やマーチンは50年代に資源枯渇の憂き目にあい自社でアディロンダックス・プールの植林をしている。

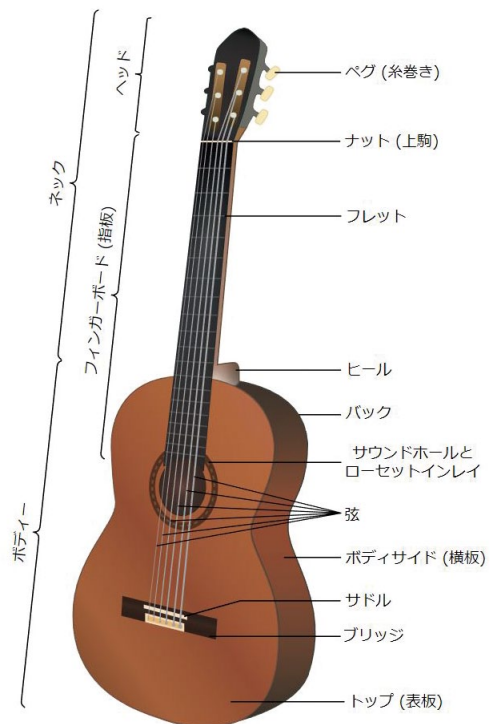
サイド・裏板は、堅木で作られる。最高級はブラジリアンローズウッド(ハカランダ)、だったが1992年にワシントン条約(CITES)の附属書I(なんとIです!判別できんのか?)に指定されてしまう。もともとインドローズ(紫檀)を使うことが多かったが、資源枯渇でローズウッド全般(ブビンガまで)なんでもありとなる。その雑ローズウッドも2013年ワシントン条約の附属書IIに指定されかなり入手が厳しくなる。ローズウッド以外だと通称マホガニー(これも産地によってワシントン条約の網にかかっている)、コア(ハワイのウクレレなんかの材料、これも終了が近い)。指板はエボニー(黒檀)が多いか。原産地証明偽装で御縄頂戴になったメーカーも、これからは茶色い木は間違いなく厳しくなる。当然廃業した工房の在庫や古い家具まで取り合いになってしまっている。木管楽器のクラリネットなんかは今後白くなるかも・・・。

木材の名称も、スプルース同様白い木はホワイトウッド、赤い木ならレッドウッド、チューリップみたいな花が咲くからチューリップウッド、シダー・セダー、サイプレス・シープレスとローカルな名称がそのまま商品名になっており、ややこしい。

FSC(森林管理協議会)により今後統一されるのか?

塗装も薄ければ薄いだけいいので、セラック(カイガラムシをすりつぶした塗料、キモツ)をフレンチポリッシュしたものが最高、ラッカー、カシューと様々。わかってないと手入れもできない。ヒノキの天井板の手の油のように後から人の手形が変色してでてくることも(家具屋は新品を見てわかるらしい)。

弦を支えているブリッジの材料は昔は普通にアイボリー(象牙)だったが、そんなものはもちろん現在流通できないので(これもワシントン条約)、牛骨(豚骨ではない)とか水牛(色が黒いので見た目がいマイチ)。糸巻のノブなんかはみんなプラ。



ギターの部位名称

出典：[https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Acoustic\\_guitar\\_parts.png#/media/File:Acoustic\\_guitar-ja.svg](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Acoustic_guitar_parts.png#/media/File:Acoustic_guitar-ja.svg)

もう古い楽器は国境をまたげない。演奏旅行で海外に行つて象牙が使われているのを知らずに没収されてしまった人知ってます。

昔からやってる工房も在庫がなくなり次第終了のお知らせが来る時代となる。

クラシックギター(ガットギター)は音量を求めて表板は薄い方がいいとされシトカスプルスが最近多い。さらに合板(ハニカム素材をツキ板でサンドイッチ)や、裏棧を格天井のようにしたり(ワッフル)にして強度を出したりで、とにかくでかい音が出るようにしている(ゴルフの高反発ドライバーと同じ原理。トランポリン効果を狙った構造まで!)。古い人にはそんなのギターじゃないといわれるが、管楽器やバイオリンの音量に対抗するには、でかい音出ないとどうしようもないので。

フォークギターは最近アコースティックギター(アコギ)と呼ばれている。アコースティックギターという、広義ではナイロン弦、鉄弦、フルアコ(和製英語 ホロウボディのf字ホール)までボディで生音が鳴るギターがすべて含まれるが、日本ではフォークギターのことを指す。ではアメリカ人なんかフォークギターのことをなんて呼んでるかという、飲み物のコーラをコーク、ペプシと呼ぶように、マーチンとかギブソンとかメーカー名で呼んでる(非常に狭い知識ですので違うのかも)。



古典的なギターの作りが透けて見える美しい

エレキギターはその手のプロの人に聞いてください。ボディがソリッド(中空でない)で、基本アンプを通さないと音が出ないものをエレキギターと言う傾向にあり、アコースティックギターに比べ使っている木材はバラエティに富んでいる。一応、大雑把にストラトキャスター(ほとんどの人がイメージする形)、テレキャスター、レスポール(ボディ鳴りするフルアコ・セミアコを含む)の3タイプ。材料はメイプル、アッシュがおおいですかね(したがって重い...)。

もちろんアンプにもこだわりが...

昔は冷蔵庫みたいなアンプだったが、レアメタルで強力磁石が作れるようになって最近小型化するも、真空管暖めないと冬寒い(冷蔵庫じゃなくて暖房じゃないか)とかこだわりがみんなあるのでこのへんで(変なこと書くとコテンパンに論破されたりするので。もちろん おじさんにです)。

ロック(!?)とかやってるのは自然保護とは相いれない人たちなので(全員ではない)、FSCが、楽器に認証ロゴ入れるとか言いだしたらどうなっちゃうのか...

というわけで、古い楽器はいい材料を使っていたのは間違いないが、戦後の壊れないぎりぎりの構造なのと、弦の張力(テンション40~80Kg)が半端ないので所々に曲がり割れが発生、実用的なのはほん

のわずか、飾り物(コレクターズアイテム)となっているのが現実かもしれない。自分が初めてのボーナスで買ったオベーションのギター(30年前)もブリッジが持ち上がって使い物にならなくなってしまっている。

ギター以外だとバイオリンなどは、トップの厚さがあり、弦の張力が弱い(20Kgくらい)ので手入れさえすれば100年単位で維持できるのでストラディバリウスの時代(17世紀)の物も現役でべらぼうな値段になっていたりする。

基本すべての部位の木材において等級付けがされ高い楽器ほどいい材料を使っている。最高の部位だけの木なんて生えていないので、等級が下がるにつれだんだんと安くなり入門用になっていくのに、某国製の激安楽器しか作らないメーカーが出現。

売れるアイテムに偏りが出てきてブランド維持が大変になってきている。どこかできいたような……。

ここまで書いて、楽器の将来は暗いというか、木材代替樹脂の時代になるのかも……。

実際人工象牙に始まり、指板の黒檀代替にリッチライト(樹脂・木材ではありえない位つるつる)が多く使われだしている。

趣味の世界なので、気に入れば何でもいいのだが、職業柄保管場所に困ることがないので、うっかりするとギターの本数がどんどん増えてしまう。地方の材木屋にありがちな1坪勉強部屋(ログハウス風)展示場が、アンプとギターで埋まった趣味小屋(正しい使い方かも)になっているのを見て、「これはいい」と思ってしまう自分が怖い。

これから楽器を始めるなら早いうちにいいものを大人買いするべきかも知れないですよ!? ポイントは私に下さい!(ウソです)

大体こういうこと書くと、「俺んちにいらぬ楽器があるから引き取ってくれ」とか「いくらで売れるか教えろ!」、最悪「買ってくれ」と聞いてくる人が現れる訳ですが、すべてお断りしています。



CITESフリー?アメリカ製 表板はレッドウッド  
(フレーム柄セコイア)、ボディ・ネックはマホガニー  
(原産国不明!), 指板はイペ